

2020年1月1日

第127号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：梶山 広美
 編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 新年のご挨拶
- ◇ 自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟第5回総会開催される
- ◇ 令和元年日本臨床検査技師連盟常任執行委員会開催される



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、当技師連盟の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月に統一地方選挙が実施され、7月には第25回参議院議員通常選挙が実施されました。参議院議員通常選挙では、当連盟が推薦した候補者に対して、会員の皆様には多大なるご支援をいただきましたが、残念な結果となりました。

また、自然に目を向けますと、とりわけ台風19号は記録的な豪雨で堤防が決壊する等で多数の死傷者や住宅、農作物等に被害をもたらしました。被害に遭われた方に対して、お見舞いを申しあげ、一日も早い災害からの復興を願っております。今年は平穏な1年を祈るばかりです。

さて、当連盟においては、会費の値上げを実施し、入会数は残念ながら減少しました。また、会員離れが生ずると思っていましたが、危惧していたほどではなく連盟の必要性についてはみなさんご理解いただいていると感じます。

連盟の活動として、先の参議院議員通常選挙に加え、各支部での会員入会促進等の連盟活動、そして日臨技全国学会、支部学会でのブロック会議の開催、宮島喜文参議院議員の国政報告会を実施し、多くの日臨技会員、日技連会員の皆さんに参集いただきました。

また、平成28年11月改組した「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」に対しては、「令和2年度予算・税制等に関する要望書/一般政策」を当連盟と日臨技との連名で提出し、日臨技の一般政策要望に対して支援を行ないました。要望の概要については、別途ご報告いたしますが、いずれも臨床検査技師の職域拡大、地位の更なる向上に繋げるためのものがございます。

今年の当技師連盟の一番の課題は、連盟会員数を昨年以上に増やすことです。今年も各支部の目標数をお示ししますので、活発な活動をよろしくお願ひします。そして、臨床検査技師にはもっと政治に興味を持っていただき、臨床検査技師の将来について各自が考え行動する必要があることをしっかり訴えていくことです。また、次期参議院議員通常選挙が2年半後となります。日臨技より候補者を擁立し、そのための活動を今年から始めていきます。昨年の流行語大賞になりました「ONE TEAM(ワンチーム)」のように、日臨技、日技連が一つになり、医療現場における国民に質の高い医療を提供するために必要な政治活動を今年も頑張ってお組んでいきたいと思ひます。

令和2年も、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年もよろしくお願ひ致します。

日本臨床検査技師連盟 代表 梶山広美

新春の
 福を
 招き寄せ
 まさけ
 ますように



自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟第5回総会開催される

令和元年12月3日16時30分より、ホテルルポール麹町にて「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」第5回総会が開催され、当議員連盟の国会議員は現在98名であり、総会には、日本臨床検査技師連盟から梶山連盟代表が、また、日本臨床衛生検査技師会より、横地代表理事副会長、滝野専務理事、深澤専務理事、篠崎事務局長が出席し、宮島喜文議連事務局長の司会のもと、衛藤征士郎会長、古川俊治幹事長のご挨拶で始まった。

厚生労働省からは、迫井正深厚生労働省大臣官房審議官よりご挨拶があった。その後、関係団体から要望、意見聴取があり、各要望に対して厚生労働省より回答するという議事内容で進行した。要望を説明したのは、我々日臨技と日本臨床検査医学会、日本衛生検査所協会、日臨技からは下記「令和2年度予算・税制等に関する要望書/一般政策要求」について梶山連盟代表が説明した。日本臨床検査医学会からは、日臨技の要望と同じと発言され特に、「がん遺伝子パネル検査の適正な評価」については、コストに見合った診療報酬が必要と要望された。総会の途中には、細田博之顧問も出席されご挨拶があった。

〈出席団体他〉

厚生労働省 大臣官房審議官ほか医政局より7名、保険局1名 計9名
 一般社団法人 日本衛生検査所協会 4名
 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 5名
 一般社団法人 日本臨床検査薬協会 3名
 一般社団法人 日本臨床検査薬卸連合会 3名
 一般社団法人 日本臨床検査医学会 3名



日本臨床衛生検査技師会からの要望

令和2年度予算・税制等に関する要望書/一般政策要求 発言要旨

● 外部精度管理調査に対する予算措置の要望

医療法に検体検査の精度管理が明記されたことから、国家レベルで検体検査の精度を確保する必要 があると考えます。今後、法改正の実施状況も踏まえ、必要な予算措置について検討を要望する。

● 精度管理の義務化への要望

医療法において外部精度管理調査については、医療提供体制への影響の回避並びに外部精度管理調査実施団体の状況も踏まえ、努力義務とされたところ。高度な医療を提供する病院等については、義務化が必要と考えることから、当会としても、外部精度管理の受け皿となるよう体制整備の構築が必要と認識している。

● 高度な知識・技術を必要とする検体検査の品質の確保のための人的要件新設

医療法に検体検査の精度管理が明記され、各医療機関に精度管理に対する責任者の配置並びに関係帳票の整備が義務化されたことから、平成17年臨検法改正時の付帯決議にもある「専門的知識」を有する業務については、国家資格がある者の業務とすべきであるが、規制改革が進む中、真に資格条件を必要とすべき業務について、関係者、関係団体のご意見を聞き進める。

● 精度保証施設認証制度の活用

精度保証施設認証の認証については、検体検査の結果の精度が確保できていると考えるため、医療監視に当たって施設認証取得の有無を確認等について要望する。

● 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シスト/シェアについて

当会は、医師が行なっている業務のうち、必要なOJT教育を行なうこと等で、タスク・シスト可能とした3分類43項目を厚労省に提出する。

● 臨床研究中核病院の指定要件に臨床検査技師の配置を追加要望

現在、指定要件のうち、人員条件として、医師、歯科医師、薬剤師、看護師が明記されているが、検体検査等の専門家であり、臨床検査全般を管理することの出来る臨床検査技師は明記されていないことから、臨床検査技師の配置を追加要望する。

● がん遺伝子パネル検査の適正な評価の要望

遺伝子パネル検査の保険適用については、検体提出時8,000点と患者への結果説明時48,000点になっており、包括的な点数設定となっていることから、検体採取から標本作成等、周辺業務の適正な評価、算定が必要と考える。なお、がん遺伝子パネル検査の実施状況並びに実態調査については、当会としても協力する。

◇上記要望の提出先について◇

令和元年 11月 5日 自由民主党組織運動本部へ要望説明
 11月18日 公明党臨床技師制度改革議員懇話会で要望説明
 12月 3日 自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟へ要望説明
 12月25日 医療技術者団体協議会 政策懇談会へ要望説明

「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」とは

平成15年3月に「自由民主党臨床検査技師制度改革推進議員連盟」が設立され、平成17年には自由民主党、公明党の与党議員の発議により「臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律」が改正されたが、当時設立された議員連盟は自然消滅したため、臨床検査関係全体での議員連盟を設立することが検討された。そこで、日本衛生検査所協会の議員連盟「自由民主党衛生検査所に関する制度推進議員連盟」を改称し、「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」とし、医療機関の検査室で行われる検査を含む制度全般を扱う議員連盟が平成28年11月発足、当時衆・参92名の国会議員の参加をいただいた。

令和元年日本臨床検査技師連盟常任執行委員会開催される

令和元年12月14日に東急R E I ホテルにおいて、連盟常任執行委員会が開催され、梶山連盟代表の開会の挨拶の後、宮島喜文参議院議員の挨拶をいただき委員会は始まった。

報告事項として ①第25回参議院議員通常選挙を振り返って ②令和元年ブロック会議報告 ③令和元年連盟活動報告が資料に基づき説明された。

続いて協議事項として、①令和2年連盟事業計画（案） ②令和2年連盟予算（案）が提示され、一部の修正を行い、令和2年1月24日に開催される執行委員会に提案することが承認された。

技師連盟の動画

日本臨床検査技師連盟

臨床検査技師の未来を拓く

何故連盟が必要なのかを3分ほどにまとめています。

各種勉強会や講演会などのイベント開催前後に放映してご利用ください。

技師連盟ニュース

法律は国会で審議され施行される

その業務は法律で守られている

医療人

国家資格を有する技師

新しく広がる医療の中で

法律を改正する必要がある